

ノロウイルスを消毒する

●消毒のポイント

- * ノロウイルスの消毒方法で、効果があるのは、**次亜塩素酸ナトリウム**と**加熱**です。
- * 加熱消毒は、**熱湯(85℃以上)**で**1分以上**加熱しましょう。
- * 手指は流水と石けんできれいに洗い流しましょう。
- * アルコールや逆性石けんは、あまり効果がありません。

●消毒液の作り方



漂白剤として市販されている次亜塩素酸ナトリウム液の、塩素濃度は約5%です。

		1000ppm消毒液	200ppm消毒液
消毒液の作り方	5%原液の場合	50倍に希釈する	250倍に希釈する
	10%原液の場合	100倍に希釈する	500倍に希釈する
使用する場所		吐物・便で汚染された場所や衣類の消毒	調理器具・床、トイレのドアノブ・便座など消毒

薬店などで消毒剤として市販されているものの塩素濃度は、**5%と10%**があります。必ず確認して使用しましょう。

ペットボトルで消毒液をつくろう 【市販の漂白剤（塩素濃度約5%の場合）】



○1000ppm 消毒液の作り方 (ペットボトルのキャップ1杯が5m l)

漂白剤 (ペットボトルのキャップ2杯分) + 水



500m l ペットボトル (全体を500m lとしてよく混ぜ合わせる)

ふたをして

○200ppm の消毒液の作り方 (ペットボトルのキャップ1杯が5m l)

漂白剤 (ペットボトルのキャップ2杯分) + 水



2Lのペットボトル (全体を2Lとしてよく混ぜ合わせる)

ふたをして

(使用上の注意)

- ・原液が皮膚又は衣類に付いた場合、直ちに水で洗い流しましょう。
- ・鉄製又はメッキの物は、サビたり変色するので使用しないこと。
- ・合併浄化槽の施設は、そのまま消毒液を流すと、浄化槽中の有益な微生物を殺してしまうことになり、十分に希釈して流しましょう。
- ・食べ物のかす等が付着している場合、消毒効果が著しく低下します。
- ・原液の保管は、冷暗所で子どもの手の届かない場所にしましょう。
- ・混ぜると危険です他の薬剤（強酸性の薬剤例：トイレ洗浄剤など）と混ぜると強毒のガスを発生します。

●準備するもの

吐物や便を片付ける時は、**マスク、ビニール手袋**を用いましょう。



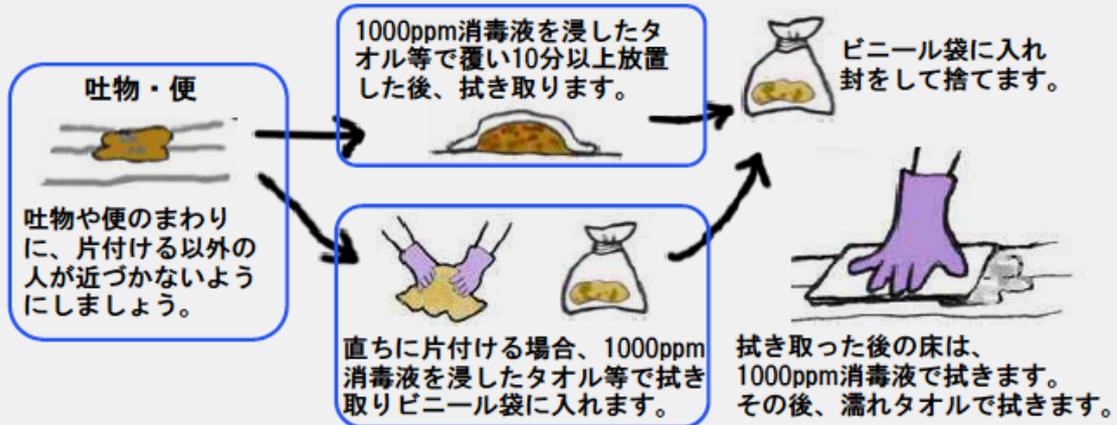
吐物や便またはそれらで汚染されたものを密封できるもの



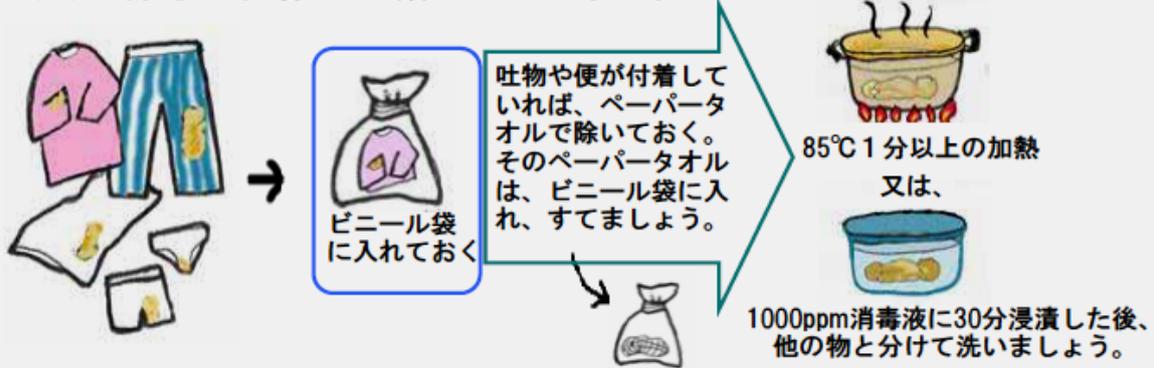
ペーパータオルなど
消毒液を浸すことのできるもの



●ふん便や吐物の取扱い



●おう吐物・便が付着した衣類・シーツ・タオルなど



●紙オムツ



●トイレの便座・ドアノブ・手すり

